



明日11月7日は暦の上では冬の始まり、二十四節気の立冬になります。日中の陽射しも少しずつ弱まってきており、朝晩の冷え込みや日暮れの早まりが、冬が近いことを感じさせる頃です。しかし3年生は熱い闘いの真っ最中です。11月1日から大学の推薦選抜の出願受付が始まっており、出願者は提出書類の準備や確認、そして面接や小論文、学科や口頭試問などの試験に向けた準備に取り組んでいます。一般選抜では共通テストまではあと71日、いや、まだ71日もあります。

①【1・2・3年生 校内実力テスト 11月9日(月)】

《1年生》{国(80分)・数(100分)・英(80分)・・・記述模試}

1年生は、この時期にしっかりと学習習慣を定着させるかどうか、2年後に大きな違いとなります。今回の模試をきっかけに自分の進路について検討し、課題や弱点を発見し、克服する機会にしてください。

《2年生》{国(80分)・数(100分)・英(80分)・地歴・公民(60分)・理(60分)・・・記述模試}

2年生は修学旅行も近づき、少々落ち着かない時期かもしれません。しかし、高校生活も半分が過ぎ、受験を意識するべき時期となりました。今回の模試では、地歴・公民、理科が出題されます。志望校別判定も出ますので、志望校についてより深く「具体的に」考えるきっかけにしてください。

《3年生》・・・共通テストマーク模試

文系：国(80分)・英リスニング(30分)(リーディング60分)・地歴公民(60分)

理系：数(70分)・英リスニング(30分)(リーディング60分)・理(60分)}

共通テスト本番にきわめて近い母集団での志望校判定が行われる模試です。記述模試とのドッキング判定により、合格可能性が総合的に判断されます。3年生はいよいよ出願校を決定していく時期になりますが、ほぼその最終手がかりになるテストです。

● 3年生は、今後の一般選抜出願までの日程は、以下のような流れになります。

- ・11月中に：受験カレンダー用紙の配布・作成 ⇒ 出願校を絞り込む
- ・12月上旬：調査書交付についての説明
- ・冬休み前：出願校の確定 ⇒ 調査書交付願いの提出
- ・冬休み明け：調査書の受け取り ⇒ 大学への出願

● 模試の受験にあたって、ぜひ心がけてもらいたいこと。

①. 緊張感を持って、本番のつもりで模擬試験に臨んでください。

「学校の成績に関係ないから・・・」・「どうせまだ本気の勉強を始めてないから・・・」と自分に言い訳するのではなく、今の全力を尽くして取り組んでください。そうして初めて、今現在の自分の課題点が浮き上がってくるのです。そしてそれを知るのが模試の目的です。

②. 落ち着いて、丁寧な解答・記入を心がけてください。

先日、ベネッセの模試担当者から学校に電話がありました。3年生の10月模試の記入間違いの確認の電話で、複数の生徒がクラスや出席番号を書き間違えている、という指摘とその確認でした。残念ながら入試直前のこの時期になっても、記入ミス、記入漏れ、雑な記入、注意事項を読んでいない、などが後を絶ちません。

- ・「雑な、不明瞭な文字 ⇒ 自分ではそう書いたつもりでも、採点者に判読できなければ×」
- ・「マークシートの、雑な塗りつぶし ⇒ 機械が読み取れなければ×」
- ・「必要事項の未記入、誤記入 ⇒ センター試験では毎年数千人がこれで採点不可能に」

②. 【進路指導室を積極的に利用しましょう！】

3年生の進路指導室の利用も急激に増えてきましたので、利用する際の留意事項を掲載します。ぜひ、積極的に利用して下さい。1・2年生も利用できます。



進路室で利用できること

- (1). 進路関係書籍・雑誌類の閲覧・貸し出し
 - 進路室で最も充実しているのが『過去15年分の赤本（大学別の過去問題集）』です。
「自分はまだ過去問を解くには早すぎる、もう少し勉強が進んでからにしよう」などと考える人は少なくありませんが、戦いに勝つには相手を知る必要があります。11月を迎えた今、志望校の過去問に取り組むべき時期となりました。
 - ★ 入試が近づくと貸し出しは大変混み合います。早めの利用をお勧めします。
 - 他にも、『センター試験の過去問集』、『模擬試験問題とその解説集』や『大学別にファイルされた学校案内・募集要項』、『先輩の受験報告書』などたくさんの資料があります。
- (2). テレビモニターとブルーレイデッキを利用したの、進路関係DVDの視聴もできます。
- (3). 進路室前廊下の長机上の資料類（学校案内、募集要項等）は、自由に持ち帰って下さい。
- (4). その他、進路相談全般を受け付けていますので、遠慮無く申し出て下さい。

貸し出し・返却の方法

- 残念ながら、赤本の紛失は皆無ではありません（卒業後に返却に来た例もありますが）。
 - ・赤本は再版されない貴重な資料です。どの予備校へ行っても、千葉西高校の進路室ほど過去の赤本がそろっているところは少ないと思います。
 - ・先輩方が残した赤本を大切に利用し、紛失したり、汚損したりすること無く、後輩達へ引き継いでもらいたいと思います。そのために少々煩雑かもしれませんが、以下の手順を必ず守って下さい。

借りる時

- ①. 目的の本が見つかったら「赤本貸出票」に必要事項を記入する。
 - ②. 進路室職員に、借りたい赤本と「赤本貸出票」を提出し、確認してもらう。
- ★ 進路室の職員が、他の生徒対応などで手が離せない場合でも、必ずこの手順を踏んで下さい。

借りている時

- ③. 絶対には書き込みなどしない。付箋を貼っても、返却時には取り除いておく。
- ④. 汚損ないように持ち運びの時も、袋などに入れて丁寧に扱う。

返却する時

- ⑤. 進路室職員に、返却する赤本と、自分の「赤本貸出票」を提出し、確認してもらう。
- ★ 進路室の職員が、他の生徒対応などで手が離せない場合でも、必ずこの手順を踏んで下さい。
- ⑥. 返却する赤本を同じ年度の棚に戻しておく。

進路室利用の注意事項

- (1). 入室の際は身だしなみを整え、利用の旨を進路室職員に申し出て下さい。
進路室には来客が少なくありません。制服を正しく着用して利用してください。
入・退室のマナーに注意し、来客の方と顔を合わせたなら、挨拶を忘れずに。
 - (2). カバン類は持ち込めません。ただし、貴重品は必ず身につけて下さい。
 - (3). スマホなどのカメラ類で、進路室の資料を撮影することはできません。
- あります。ぜひ皆さんも国公立大に挑戦してください。

